



こども家庭支援論①② ～家族・家庭の理解～

東北こども専門学院

14 Nov. 2024

担当：鑑さやか



家族とは？

- 1930年代の家族の定義
「夫婦および親子関係にある者を中心とする
比較的少数の近親者が緊密に融合する
共産的共同」



家族とは？

- 1930年代の家族の定義
「夫婦および親子関係にある者を中心とする
比較的少数の近親者が緊密に融合する
共産的共同」

「近親者」とは・・・

血のつながりの近い人、または配偶者



家族とは？

- 1930年代の家族の定義

「夫婦および親子関係にある者を中心とする
比較的少数の近親者が緊密に融合する
共産的共同」

「共産的共同」とは・・・

- ①仕事をともにし
- ②住居をともにし
- ③食事をともにし
- ④所有をともにし
- ⑤所属をともにすること



現代の家族は1930年代の定義にあてはまるでしょうか？

必ずしも住居や食事、所有、所属を
ともにしているとはいえない

- ・ 現在最も一般的に用いられる定義
「夫婦・親子・きょうだいなど少数の近親者を
主要な成員とし、成員相互の深い感情的かかわり
あいで結ばれた、幸福（well-being）追求の集団
である」

現代社会では、↑の定義にも
あてはまらない場合もある？



例えば

法的には婚姻関係にない男女
同性愛のカップル

ペット など、それぞれを家族と考えている場合

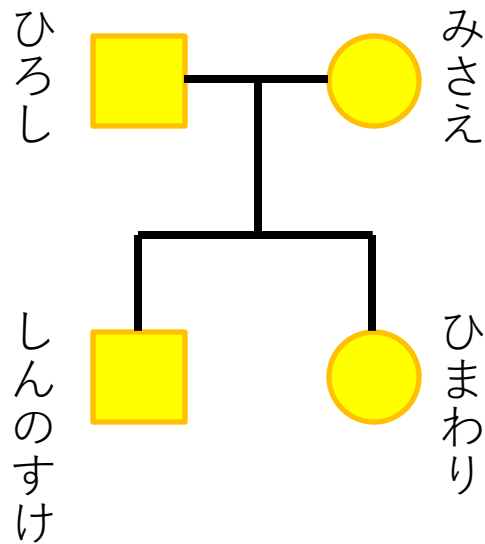
- ・ 家族のありようは時代とともに変化する
- ・ 家族の生活の場である家庭も、
時代や社会の変動に伴い変化する



家族の形態

核家族

- 1組の夫婦と未婚の子ども
- 子どもがいない夫婦だけ
- 夫婦の一方がいない
ひとり親

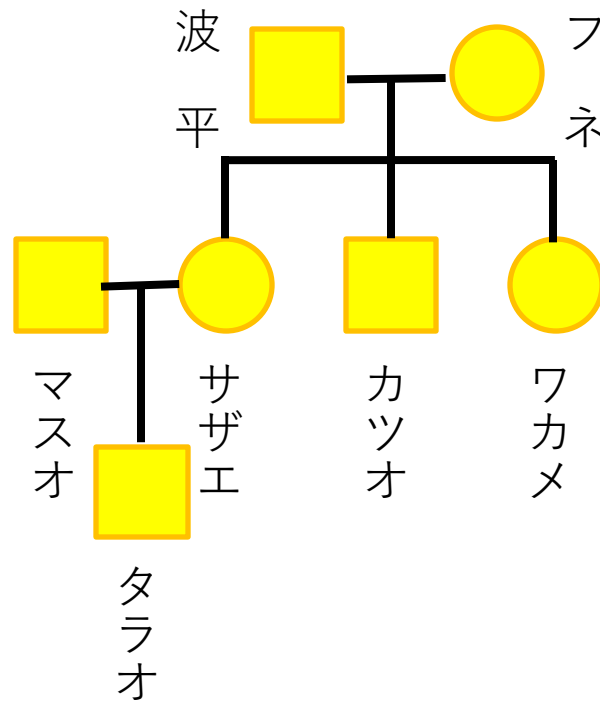


などの家族形態を
核家族という



家族の形態 拡大家族

- 子ども世代と親世代が組み合わさってできる家族を直系家族という
- もし、カツオが結婚して磯野家に妻とともに同居したら？

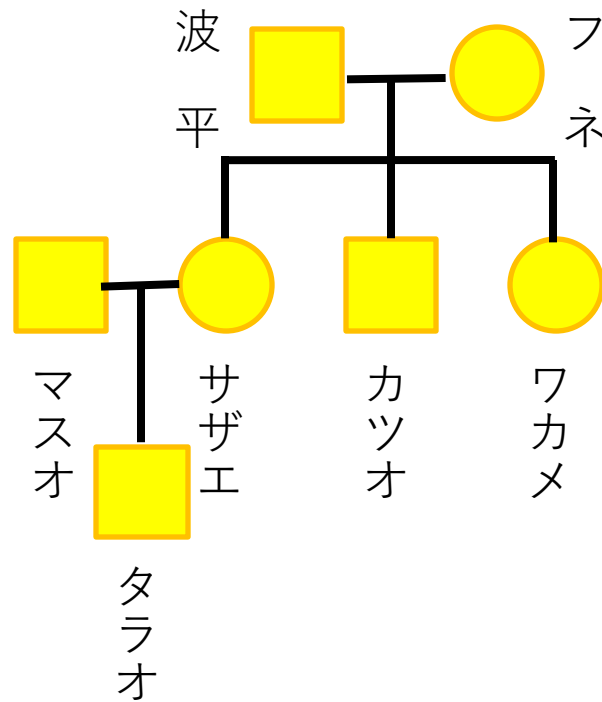




家族の形態

拡大家族

- 子ども世代と親世代が組み合わさってできる家族を直系家族という
- もし、カツオが結婚して磯野家に妻とともに同居したら？
→きょうだい各々の核家族が融合した形を複合家族という



直系家族と複合家族を
合わせて拡大家族という



世帯とは？

- 現実の生活において家族は、成員間で誰がそのメンバーか一致しないことがあるため、生活体としての単位を明確にするときには「世帯」という単位が使われる

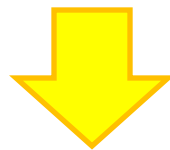


家族形態として減少したもの

- 1970年以降、核家族世帯は量的には増加したが全体の割合としては減少
- 三世同居を含む「その他の親族世帯」が20%台から10%台へ減少
- 祖父母や伯父伯母などと一緒に暮らす子どもたちの割合が減少

家族形態として増加したもの

- ひとり親世帯
- 単独世帯



地域の中で子どものいる世帯が減少していること、子どもたちが家族のなかで経験する人間関係の数も減ってきていることを意味する

多様化する家族

- 新しい自分の家族をつくらない人
- 子どものいる家族が離婚する場合、
子どもを引き取る側は、

親と子という家族を維持

引き取らない側は、家族のいない生活





多様化する家族

- 新しい自分の家族をつくらない人
- 子どものいる家族が離婚する場合、
子どもを引き取る側は、
親と子という家族を維持
引き取らない側は、家族のいない生活
- 夫婦のいずれか、あるいは双方が、
以前の婚姻での子どもを連れて再婚すること
によって形成される家族
→ステップファミリー



多様化する家族

- 新しい自分の家族をつくらない人
- 子どものいる家族が離婚する場合、
子どもを引き取る側は、
親と子という家族を維持
引き取らない側は、家族のいない生活
- 夫婦のいずれか、あるいは双方が、
以前の婚姻での子どもを連れて再婚すること
によって形成される家族
→ステップファミリー
離婚や再婚の増加からステップファミリーが増加
かつて多かった、配偶者と死別した後の再婚に代わり、
離婚後に形成されるステップファミリーが増加している